

つながる庄原 笑顔の未来
いかそう 人を 歴史を 資源を

庄原地区文化祭

開館40周年を迎えて

センター長 福島 勲

10/13
(土)

10/14
(日)

庄原コミュニティセンター(コミセン)は昭和53年に庄原公民館として当地に建設され、今年で40周年を迎えました。

この間に研修室、「おいでませ館」が増築され、より幅の広い活動及び事業が出来るようになりました。平成28年度にはリフレッシュ事業で事務所の拡張、和室をフロアの会議室に改造、実習室の改造、集会室の床の張り替え、外壁の塗り替え等を行い、装いも新たになりました。現在はおよそ年間35,000人の方の利用があり、出雲市の中でも利用率は高い方です。地域の皆様に親しみのある参加し易い場所を提供し、明るく楽しい生活に協力できる施設として活動を続けています。

また、コミセンでは自主企画事業として「総務部」、「まちづくり部」、「ふれあい交流部」、「健康スポーツ部」、「子ども倶楽部」の5つの部を設け各部で様々な事業を行っています。また、各種団体、自治協会等の事業にも協力し、地域のつながりを強くするよう努力しています。しかし、この事業等は地域の皆様のご協力なしでは何もできません。たくさんのボランティアの皆さんの支えにより40周年を迎えることができました。ボランティアの力が公民館、コミセンを確立してきたと言っても過言ではありません。コミセン及び地域の発展のために今後一層のご理解とご協力をお願いし、40周年を迎えてのご挨拶と致します。

庄原コミュニティセンター40周年記念表彰

感謝状受賞者

感謝状及び記念品を贈呈

40周年の記念式典にあたり公民館・コミセンに長年にわたりボランティアとして活動され、地域貢献をされた個人および団体の皆様に感謝の気持ちを伝えたく感謝状及び記念品を贈呈いたしました。



【個人表彰】

- ◆竹田 勲 庄原公民館長・庄原コミュニティセンター運営委員などを務め、永きにわたり地域づくり及び公民館事業を推進された功績
- ◆須田正彦 庄原公民館運営審議委員・庄原コミュニティセンター運営委員として永きにわたり公民館・コミセンの充実発展に尽力された功績
- ◆田中文子 庄原公民館主事として永きにわたり地域づくり及び公民館事業を推進された功績
- ◆青木 登 「庄原地区健康づくりの会」発足当初より会長として永きにわたり地域の健康づくりに貢献された功績
- ◆伊藤幸治 「庄原こどもエコクラブ」代表として永きにわたり無農薬栽培での食の大切さを地域の子供たちに「エコ田んぼ」に訴えかけて指導された功績
- ◆渡部栄子 庄原公民館運営審議委員・庄原コミュニティセンター運営委員・庄原地区自治協会副会長「おいでませの会」ボランティア代表を初め各方面で永きにわたり地域づくり・コミセン事業に尽力された功績

【団体表彰】

- ◆庄原こどもエコクラブ 「庄原こどもエコクラブ」として永きにわたり地域の子供たちに無農薬栽培・おいでませ田んぼの米づくりの活動に尽力された功績
- ◆はな☆花クラブ 「はな☆花クラブ」として永きにわたり庄原コミュニティの花壇の管理など文化活動に尽力された功績
- ◆庄原コミュニティセンター女性部やまももの会 庄原公民館・コミュニティセンター女性部として永きにわたり花壇・環境・健康やまももの会など多様な活動に貢献された功績
- ◆羽根盆踊り愛好会 「羽根盆踊り愛好会」として永きにわたり庄原小児園に指導し羽根盆踊り継承活動に尽力された功績

庄原地区文化祭

庄原地区文化祭実行委員会

10/13 (土) 10/14 (日)

庄原地区文化祭・開館40周年 記念事業講演会

講師 池橋達雄氏

73年前の斐川―庄原に戦争があった

大阪学童の集団疎開、新川の海軍航空基地、1945年7月28日の島根空襲について聴講し、疎開で来た児童は、親元を離れた寂しさや空腹を伴う不自由さに、戦争の悲惨さを強く感じたと思いました。

出西の「大社基地」を創るために徴用や奉仕の人、そして児童までが動員され、ここからの出撃兵30名以上が戦死し、「大社基地」を中心に米軍の空襲を受け、基地の将兵3名と馬が死亡したそうです。大きな労苦と犠牲を払うこととなったのです。

日清戦争以降第二次世界大戦の終戦までに、斐川町の戦没者数は計903名にのぼるとも聞きました。

講演の際頂いた庄原小学校作成の資料に、「戦争」こそ最大の「人権侵害」である、とありました。私も全くその通りだと改めて思いました。

まちづくり部 穴道昭訓



落語家 春雨や落雷師匠 お達者落語会



第1部 古典落語「八五郎出世」

本格的な古典落語で、会場は終始笑いが絶えず、楽しい落語会でした。真打ちの落語を堪能することができました。

第2部 いきいき医学講話「笑いと免疫…そして健康」

普段の生活には、笑いが特に大切です。笑って免疫を高め長生きしましょう、作り笑いでもいいですよとユーモアたっぷりに話されました。とても参考になりました。



庄原地区文化祭40周年 大地道会品ご提供団体

四季荘 レストランテール
ながせファーム
エルパティオ三島
かんぱん
JAしまね庄原支店
ふれあい市場
食創工房 レコルト
コクヨ
庄原こどもエコクラブ
古岡製菓
日本料理 ほろろ
糸織製菓店
はななクラブ



庄原地区文化祭将棋大会



優勝 多々納康人 (高江)
準優勝 狩野 直道 (庄原小4年生)
3位 石川 正夫 (上庄原)
4位 内藤 博 (三輪)
5位 錦織 碩明 (庄原)

10/28 (日)

第5回 庄原・出東一斉クリーン大作戦

出雲市環境保全連合会庄原支部



昨年は雨天のため中止だったこの活動ですが、今年はお天気に恵まれ開催することができました。当日は、ベビーカーに赤ちゃんを乗せた家族連れの参加、愛犬との参加、ご夫婦での参加、友だちとの参加…など、様々な形での参加がありました。学校、家庭、地域をあげて約530名の参加があり、たくさんのごみを拾って地域がとてもきれいになりました。一人ひとりの心がけでいつもきれいな庄原を目指しましょう！

「人権問題に関する意識調査」 に対するお礼

先般はお忙しい中、地区民の皆様にはアンケート「人権問題に関する意識調査」にご協力いただき、誠にありがとうございました。

回答の中には、励ましのお声と同時に率直な問題提起の意見もいただいております。今後委員会としてアンケートを分析し、課題を確認し、来年度から始まる「同和教育研究指定事業」の中で「真に明るく住みよい民主的な社会の創造」(「出雲市同和教育研究指定事業実施要綱」)にむけた教育活動を皆様とともに進めたいと思います。

庄原地区人権・同和教育指定事業推進委員会

9/19 (水)

芋ほり

自主企画事業

こども倶楽部



記録的な猛暑となったこの夏は、私たち人間だけでなく「さつまいも」にとってもきびしい夏になったのではないのでしょうか。それでも草取りをし、水を与えた芋たちは大きく育ちました。

6月に「こども倶楽部」の部員と庄原幼稚園・東部保育園・庄原保育園の園児たちが一緒に植えたさつまいもの芋ほりを行いました。紅色に実ったさつまいもに子どもたちは歓声をあげていました。

農薬・化学肥料を全く使わないで行う芋作りは、人の手を加えていかないと上手くいかないことが多く、地域のみなさんとの農作業のなかで子どもたちは農作業の大変さ、食べ物の大切さを学びました。また、同時に世代を越えた交流も深まりました。



9/8
(土)

映画「八重子のハミング」上映会

主催：荘原コミュニティセンター／社会福祉法人 金太郎の家
後援：公益法人 認知症の人と家族の会島根県支部

「認知症になっても安心して暮らせる社会」を

「八重子のハミング」映写会に、お越しいただきまして有難うございました。

この映画は、若年性認知症を患った「八重子さん」とそれを献身的に支えるご主人や家族、友人の心温まる話でしたが、主催者として、次の2点だけはお伝えしておかねばならないと思います。

一つは、「認知症の方＝何もわからない人 ではない」ということです。「八重子さん」の姿から、悲惨さだけが伝わってはいないかと心配しています。また「認知症は子どもに返る病気」という表現もふさわしくなかったと思います。

今、認知症の方が講演会等で、自ら病気の悲しみや辛さ、また夢や希望を語り始められています。認知症になっても残っている力を活かし、周りの支援を得ながら、積極的に生きていこうとされている方がたくさんいらっしゃることを、是非お伝えしておきたいと思います。

もう一ひとつは、この映画は、介護保険が始まる前のお話であり、今は十分とはいえないまでも、様々な利用できる制度もあります。社会の認知症に対する理解も少しずつ深まってきています。この主人公のようにすべてを犠牲にして抱え込まなくても、福祉制度を活用し、周囲の手助けも受けながらご本人も家族もともに幸せになる方法を、考えていただきたいと思います。

長寿社会になり、誰もが、認知症にあるいは、その家族になりうる時代。「認知症になっても安心して暮らせる社会」を皆で作っていくことができればと願っています。

金太郎の家 阿食 かをる



会場は来場者で満員となり、認知症への関心の高さが窺えました。

9/15
(土)

大黒山自然観察会

よかった！大黒山自然観察会 自主企画事業

健康

スポーツ部



未明までの雨も止み、集合場所の「みはらし本陣」に集まった参加者は29名。

健康スポーツ部長のあいさつ、つづいて当日の講師、自然観察指導員の佐藤仁志氏から、「この大黒山には、多くの種類の植物が見られます。ゆっくり鑑賞しながら登りましょう」とのあいさつ。早速、登山道を進み始めた。雨後で、蒸し暑い。

最初に見入ったのが、道端に咲く小さく可憐な薄紅紫色の花、「キツネノマゴ」。見過ごしてしまいそうな花だが、葉草の一種らしい。佐藤氏のお話では、この大黒山麓には、葉草となる植物がたくさん見られ、この地域に「葉草植物園」も存在しているとの話もあり、この大黒山頂上にある「兵主神社」の主祭神が医療の神様と称される「大国主命」であることを、ふと思い起こさせる。

さらに歩を進めると、クマノミズキ、ミズヒキ(紅白水引に由来)、どんぐりの実に産卵し、実のついた葉先を切り落とし、幼虫がその実をエサとしている「ハイイロチョッキリ」という虫のことなど、興味あふれる解説が次々続く。メジロの囀りも聞こえる。途中、昭和39年災害で土砂崩れが発生し、この地を去った集落跡の説明もあり、大黒山の自然の一面を垣間見ました。

さらに頂上に近づくと、新田畑からの参道と合流する。地元の参加者の方からは、「まだまだ頂上は先だ」という声。汗を拭きつつ、頑張ろう！

この合流地点から上の登山道や頂上付近には、樹木に「植物名札」が取り付けられており、約100種類にも上るとのこと。大黒山に関心を寄せる地元出身の県外在住の方が、故郷への思いを込めて自費により取り付けられ、学術的な名前、科名や分布地、解説文がきちんと刻銘されている。佐藤氏の説明を受けながら、参加者もそれぞれ写真に撮ったり、樹木と名前を興味深く見比べたりしていました。やがて頂上に着き、「兵主神社」に参拝し、眼下に広がる斐川平野の眺望と涼しい風にホッとするひととき。帰りは、頂上直下の駐車場に降りて、新田畑公民館に辿り着きました。約3時間に亘る大黒山の自然観察会。多くの植物との触れあいに満足しつつ散会しました。

参加者 学頭 深田和美



10/23
(火)

教育講演会

自主企画事業 総務部



演題「メディアと上手につきあうスマホ世代の 子どものための必要なつきあい方を学ぼう」

会場：荘原小学校

講師：情報モラルアドバイザー 今度 珠美 さん

毎年恒例になりました講演会ですが、今回は子どもたちが一番身近な事柄で毎日接する機会のあるネット、スマホについて教えてもらおうと、情報モラル教育アドバイザー、鳥取県情報教育サポーターの今度 珠美さんに講演していただきました。

とかく親は子どもに対して、ネットやスマホは危険なもの、不要なものと考えがちですが、ルールを子どもたち自身が知ってそれを守り、こうなると危ない、こうすると危険だという事を理解して、前向きに積極的に使おうという講演でした。

まずネット社会での3つの危険なポイントを教えていただきました。



- ①写真をネットにのせるのは、どんなに良い写真でもいけない。(個人情報がいっしょに流れてしまうのでだれがのせたのかわかってしまう。写真を気軽にのせると目に見えない情報が写真には隠れている。写真をのせるという事はネット社会に「公開される」「広がる」「記録される」ということになる)
- ②ネットのゲームなどには「なりすまし」の人がいる。(怪しまれない人になりすまして個人情報を聞いてくる。もしも困った事になったら親、学校、大人に相談する)
- ③ネットやゲームにどんどんはまっていくと「ネット依存」「ゲーム依存」になり日常生活に支障をきたしていく。(一日中ゲームの事を考えて勉強ができない、夜寝ないでゲームをする、朝おきられない、ゲームをしてない時はゲームがしたくてイライラしている)

こういう3つの危険なポイントをしっかり守って、安全に使いましょう、とお話いただきました。つぎに子どもたちに4つの質問がありました。

- ・毎日2時間以上ゲームをする
- ・ゲーム、インターネットをしない時はイライラしている
- ・いつまでもダラダラ使ってしまう
- ・使ってはいけない時に使ってしまう

この4つの質問には子どもたちが手をあげて反省している所が目に入りましたが、私たち大人も同じ質問に答えることになり、子どもたちを前にして恥ずかしい所を見せてしまい、子どもたちと同様に反省しました。この質問の中で一番よくないのは「いつまでもダラダラ使う」だそうです。この質問が一番多く手が上がり、ネット依存、ゲーム依存になる確率が高いそうです。大人も子どもも気を付けたい所です。



最後にまとめとして3つのネットの約束をしました。

「写真や個人情報の投稿は気を付ける事」「ネットで知らない人に自分の事を教えない事」「時間のルールを決めて使う事」この3つの約束はとても大事な事です。この約束をきちんと守る事で安全に使う事ができ、この約束の中で楽しくネットを使いましょう、と教えていただきました。

また質問コーナーの時間があり、沢山の子どもたちから質問が出され、関心の高さが感じられ、一番身近な事だと、再確認しました。毎日のニュースでネットに関する事件、トラブルを目にしない日はないようになりました。この講演を聞いて子どもたちはもちろん私たち大人もルール、マナーを守り、安全で楽しくネットを使うようになればと願います。

荘原小学校PTA文化部部长 石川 悟

10/23
(木)

ふれあい交流部



第6回 朝ごはんをつくろう

自主企画事業

荘原小学校PTA保体部と共催で第6回「朝ごはんをつくろう」を企画しました。斐川学校給食センター栄養士、松浦佐代子さん上田絵理さんを講師に迎え、朝の忙しい時間に短時間で作れるメニューを指導していただきました。地域の方と保護者のみなさんとのよい交流の場となりました。



<保護者の感想>

朝ごはんはいつもすごく簡単なので、今日の講習でさらに簡単なメニューを教わったので作ってみようと思いました。子どもは朝からたくさん食べないので、今日のようにおいしいご飯が出てきたらようこんで食べたいと思いました。また参加したいです。

一品とも簡単に出来ておいしかったので、さっそく作ってみたいと思います。参加されたお父さんの年齢がよかったです。



荘原コミュニティセンターよりお知らせ Information

しめ縄づくり参加者募集

荘原小学校児童、PTAさんと一緒にしめ縄をつくりますか？自分で作ったしめ縄でお正月を迎えてみませんか！

- 主催：荘原地区社会福祉協議会
- 共催：荘原小学校PTA生活部・荘原コミセン(ふれあい交流部)
- 日時：平成30年12月2日(日) 10:00~13:00
- 場所：荘原小学校体育館
- 持ち物：はさみ、タオル ※終了後、豚汁とおにぎりが出ます。

喫茶やまもも クリスマス会

- 日時：平成30年12月13日(木) 9:30~12:00
- 場所：荘原コミュニティセンター集會室
- 喫茶代：300円
- ステージ：10:00~10:30
 - *三味線演奏(錦織利正さん)
 - *ピアノ演奏(建部佳代子さん)
 - *みんなでクリスマスソングを歌いましょう！



そば打ち講習会参加者募集

自分で作ったそばを食べてみませんか？地域の名人さんに教えていただきます。どなたでも参加できます。参加をお待ちしています。

- 日時：平成30年12月15日(土)9:30~13:00
- 場所：荘原コミュニティセンター集會室
- 参加費：500円 ○持ってくるもの：三角巾・マスク・タオル・持ち帰り用タッパー
- 締め切り：平成30年12月7日(金)
- 定員：20名(定員になり次第締め切ります)



申し込み：荘原コミュニティセンターまで
電話にてお申し込みください

電話 72-4600

お礼

斐川ライオンズクラブ様

廃食用油回収BOXの清掃
ありがとうございました。

年末年始の
利用について

- *荘原コミュニティセンター
年末12月29日(土)から1月3日(木)まで一般業務はお休みします。
- *リサイクルステーション
12月29日(土)30日(日)はお休みします。1月5日(土)平常通り利用できます。

ご寄付御礼

香典返し 金一封

福原恭治様(大倉自治会)

森脇 均様(川東自治会)

岩谷邦子様(新原自治会)

皆様からお寄せいただきましたお礼は、
荘原地区社会福祉協議会に活用させていただきます。
誠にありがとうございます。